

AV MATERIAL

ニュースクリップ & 映像教材

協会情報

■第52回「全国自作視聴覚教材コンクール」

作品募集

日本視聴覚教育協会主催、文部科学省後援による標記コンクールでは、教育現場で活用する自作視聴覚教材を募集する（21頁参照）。

<部門> 1 小学校（幼稚園及び保育所を含む）、2 中学校、3 高等学校、4 社会教育の各部門。

<種別> 映像教材、デジタルコンテンツ、紙しばい等。

<表彰> 最優秀賞（文部科学大臣賞）各部門各1点、部門を通じて優秀賞8点、入選10点以内。

<締切> 令和8年6月26日（金）

<問い合わせ先>（一財）日本視聴覚教育協会
TEL 03-3431-2186

AV情報

■JST 探究・STEAM 教育サイト「サイエンスチーム」補助教材公開

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）では、標記サイトの動画シリーズ「ともにキヅク社会」において、小学校高学年から高等学校を対象とした指導案やワークシートなどの補助教材を新たに公開した。身近なテーマから「気付き」を促す動画と併せて、探究学習やキャリア教育の導入に活用できる。詳細は、<https://scienceteam.jst.go.jp/starter/>「スターターキット」を参照のこと。

<お問い合わせ先> JST 総務部ポータル課サイエンスチーム担当

MAIL scienceteam@jst.go.jp

■「NHK 技研公開 2026」「NHK TECH EXPO 2026」同時開催

NHKは、NHK放送技術研究所と「NHK TECH WEEK」と銘打ち、標記イベントを開催する。

<日時> 令和8年5月28日（木）～31日（日）

10:00～17:00（入場は終了30分前まで）

<会場> NHK放送技術研究所（東京都世田谷区砧1-10-11）

<内容> NHK放送技術研究所は、「拓く、支える、これからも」をテーマとした研究成果を紹介。NHK TECH EXPO 2026では、「つながる知恵、ひろがる技術」をテーマに、番組制作、緊急報道分野におけるAIやIP・クラウド技術の利活用を紹介。デモ展示や体験型展示など。入場無料（予約不要）。
<問い合わせ先> NHKホームページ「お問い合わせ」。

■New Education Expo 2026開催

「学びの未来を、共に拓く。」をテーマに、New Education Expo 実行委員会主催の標記イベントが2会場で開催される。

<日時> 令和8年6月4日（木）～6日（土）（東京会場）、6月12日（金）・13日（土）（大阪会場）
2会場とも、9:30～18:00 ※東京会場開催のセミナーを札幌、釧路、仙台、名古屋、福岡のサテライト会場に配信予定。

<会場> 東京ファッションタウンビル（東京都江東区有明3-1）、大阪マーチャンダイズ・マート OMM（大阪府中央区大手前1-7-13）

<内容> 基調講演、セミナー、教育コンテンツ、教材・教具、校務DX・学校運営・業務改革、機器・教室設備、ICT基盤・ネットワーク/セキュリティ

■ 協会情報「令和8年度 教育映像祭 優秀映像教材選奨」募集開始

日本視聴覚教育協会主催、文部科学省、毎日新聞社後援による標記選奨では、「教育に利用される映像教材の制作と利用の向上進展を図る」ことを目的に教材を募集する。

＜部門＞ 1 小学校（幼稚園含）、2 中学校、3 高等学校、4 社会教育（家庭生活向・市民生活向）、5 職能教育、6 教養。

※部門1～3においては、【教育映像】（映画・DVD等）及び【教育デジタルコンテンツ】（コンピュータ ソフトウェア）の別により審査を行う。部門4～6においては、【教育映像】のみとする。

＜参加条件＞令和7年6月1日～令和8年5月31日までに完成した作品。

＜表彰＞○最優秀作品賞（文部科学大臣賞・日本視聴覚教育協会会長賞）○優秀作品賞（日本視聴覚教育協会会長賞）

＜縮切＞令和8年6月1日（月）までに、参加申込書と併せて、作品を送付のこと。詳細は、下記を参照。

<https://www.javea.or.jp/fes/index.html>

＜問い合わせ先＞（一財）日本視聴覚教育協会 優秀映像教材選奨事務局
TEL 03-3431-2186

等の企業展示等。

＜問い合わせ先＞New Education Expo 実行委員会事務局（株）内田洋行教育総合研究所内
TEL 03-5634-6237

コンクール情報

■ 「映文連アワード2026」作品募集

（公社）映像文化製作者連盟では、短編映像業界の活性化を図るとともに、次世代を担う新しい才能を発掘し、映像業界のインキュベータとしての機能を担うことを目的に標記アワードの開催にあたり、作品を募集している。

＜募集部門＞①コーポレート・コミュニケーション（企業のブランディング、産業・企業文化を伝える、プロモーション映像など）、②ソーシャル・コミュニケーション（教養（教育、文化、社会）を目的とする、社会性のあるテーマを伝える映像など）、③パーソナル・コミュニケーション（学生及び個人・グループが制作した自由課題の映像など）の3部門。

＜応募要件＞令和7年4月1日～令和8年3月31日までに完成した作品。作品の上映時間は原則として60分以内。メディア・手法は、映画、ビデオパッケージ、テレビ番組、展示映像、アニメーション、Web等。参加料は、1作品につき、一般25,000

円、学生8,000円。

＜賞＞最優秀作品賞（グランプリ）、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞各1点、東京都知事賞他。

＜縮切＞令和8年5月31日（日）

＜問い合わせ先＞（公社）映像文化製作者連盟 映文連アワード係 TEL 03-3662-0236

文部科学省選定作品

■ 3月選定 紙しばい

「むし どっちがどっち？」 紙12枚＜小学校低学年／幼児、教養＞（株）童心社

「おはなが ぱっ！」 紙8枚＜教養、幼児＞（株）童心社

映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/

短信

■ 課名変更 文部科学省初等中等教育局参事官（デジタル学習基盤担当）付

文部科学省初等中等教育局学校情報基盤・教材課は、令和8年4月より、文部科学省初等中等教育局参事官（デジタル学習基盤担当）付と課名が変更となった。

※本欄掲載のイベント開催等の最新情報は、主催者＜問い合わせ先＞に、ご確認ください。